

スムーズビズの実施について

2022年1月24日 東京都都市整備局

スムーズビズとは

スムーズBizについて

- 東京2020大会の円滑な輸送の実現と経済活動の維持との両立、大会のレガシーとしての取組の定着に向け、テレワークや時差Biz、大会時の交通需要マネジメント（TDM）の取組を「スムーズBiz」として一体的に推進



東京2020大会に向けた スムーズビズの展開と総括

集中的な取組期間設定と連動した広報展開

- 集中的な取組期間を設け、鉄道事業者と連携した広報、先進企業の取組を共有するイベント、優れた取組に対する表彰などを、組み合わせて、企業や働く人々への周知啓発を実施



住んでいる人も、訪れる人も、より快適な東京へ

スムーズビズ

Smooth Biz

テレワーク
テレワークの活用を促すための取組

時差Biz
ピーク時間を避けて気持ちよく出勤

2020TDM
交通手厚プログラム
東京2020大会開催中計画的な移動で混雑を緩和

3つの取組で、新しい働き方の東京モデル

東京都

<2019年春・キックオフ>



東京の夏、来年の夏、日本の夏。

2019年7月22日(土)～9月6日(土)までの期間、東京都内全域で「スムーズビズ」を実施します。

2019年7月22日(土)～9月6日(土)までの期間、東京都内全域で「スムーズビズ」を実施します。

スムーズビズ

7.22(土)～9.6(土)

東京都

<2019年夏・大会1年前>



冬のスムーズビズ実践期間

やってみよう!

2020年1/14(火)～1/31(金)

スムーズビズ

Smooth Biz

東京都

<2019年度冬の期間設定>

周知イベントを開催①

<スムーズBiz キックオフイベント (2019.5) >

- スムーズBizの意義を発信
- 10の企業・団体が行う取組や都の支援策を紹介し、取組の裾野拡大を図る



フォトセッション



都の支援策紹介



都知事からの呼び掛け



取組紹介企業へのプレス取材

周知イベントを開催②

<テレワーク・デイズ2019&スムーズBiz推進期間プレイベント (2019.7) >



- 国が進める「テレワーク・デイズ2019」と合同開催
- 大会に向けてトライアル期間を設定し、企業や働く人々へ、テレワークやオフピーク通勤など、交通混雑回避の取組の一斉実施を呼び掛け
- 人やモノの流れを変える働き方などについて、先進的な取組企業とパネルディスカッション



鉄道事業者と連携した広報展開

<大会1年前の事例（2019.7）>

・車両内や駅構内等における広報協力



・オフピーク通勤の促進に資するキャンペーン実施



臨時列車の運行



サテライトオフィスの
利用促進キャンペーン



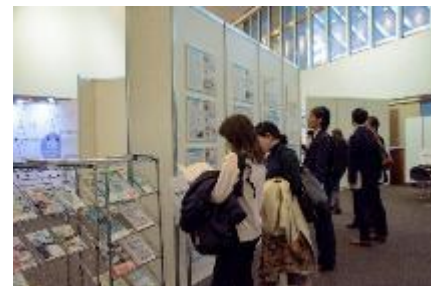
ポイント・特典付与



オフピーク通勤者への
商品配布
(配布場所の提供)

表彰による先進事例の周知と取組実施の啓発

<スムーズBiz推進大賞表彰（2019.11）>



- スムーズBiz推進大賞として、大会1年前に設定した「スムーズBiz推進期間」の企業の取組を公募し、大賞5社、推進賞10社、特別賞3社の合計18社を選定
- 受賞企業に対する表彰式の様子や取組の内容をHP等で広く発信し、取組拡大を図る
- スムーズBiz推進期間中の取組結果の報告や、テレワーク機器の展示なども合わせて実施

シックス・アパート株式会社



〈問合せ先〉

シックス・アパート株式会社 広報担当 壽 (ことぶき)
03-6261-4640 / pr@sixapart.jp

取組概要

出社不要の働き方 SAWS

必要な時のみ出社。地方への移住が進み、他社・自治体との連携も。



- **社内推進:** 2016年夏のEBO（従業員買収）による独立時、以前の1/3サイズのオフィスへの移転とともに開始。半期で4千万のコスト削減に繋がる。
- **自由な働き方を支援:** 業務環境作りのための手当（1.5万/月）を全社員一律で支給。
- **目的は個人のQOL向上:** 残業時間はSAWS開始以前より少なかったため変わらず。通勤が無くなりQOL向上に。

各地で働く社員

都外在住、帰省・旅行先でのワーケーション



「必要な時のみ出社」の対象は全社員。出社は月1-2回程度のため、社員の半数以上は長野、茨城、群馬など都外に在住。帰省や国外旅行中のワーケーションも頻繁に実施。

普及啓発〈自治体〉

青森県や秋田県大館市などの

自治体とテレワーク推進の取組を実施



2018年6月
青森の中学生向け
キャリアセミナー
@神保町オフィス

2019年8月
高校生向け
Web制作講習会
@青森商業高校

2019年8月
秋田県大館市サテライト
オフィス事業に参加し
現地で子連れワーケーション

2019年8月
セミナー開催
北鹿新聞に掲載

災害時事業継続（BCP）

サイト安定運用を支援

当社の主要製品であるウェブサイト構築システム「Movable Type」は国内各地の自治体や省庁で利用されている。緊急時こそ重要なウェブサイトの安定運用を支えるのは当社の責務。

クラウドを活用し社員の安全確認と事業継続の仕組みを構築することで、災害時にも利用者サイトの継続的な情報発信を支援。



出典：スムーズBiz
ホームページ

日本電気株式会社



〈問合せ先〉

日本電気株式会社 カルチャー変革本部
 宗 由利子 smartwork@rise.jp.nec.com

取組概要

・テレワークの実践

日	月	火	水	木	金	土
7/14	15 祝(日)	16	17	18	19	20
21	A 22	23	24	25	26	27
28	B 29	30	31	8/1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	祝(日)	13	14	15	16	17
18	C 19	20	21	22	23	24
25	D 26	27	28	29	30	31
9/1	2	3	4	5	6	7

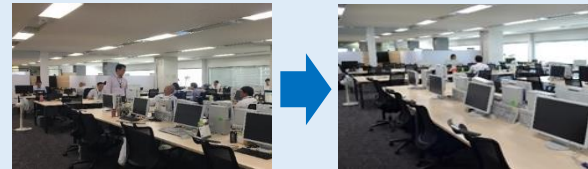
A~Dから選択して連続1週間在宅勤務

実施概要

- 目的：東京2020大会期間の働き方を予行演習
 - ✓ 働き方改革の推進・定着化
 - ✓ 東京2020大会期間に向けた課題の洗い出し
 - ✓ BCPを想定した働き方実践と課題洗い出し
- 原則、全社員が連続1週間の在宅勤務を実施
- 周辺事業場に1,800席超の終日利用可能なサテライトオフィスも用意
- 一部派遣元会社との覚書締結などにより、派遣社員のテレワークトライアルを実施

結果

- 参加人数：NECグループ全体 41,286名
NEC 16,495名（社員の8割以上）
- 5日連続 or 5日以上実施した人：
 - ✓ NECのテレワーク実施者の51%



・物流のトライアル

実施概要

- チャレンジウィークのTSM*試行への参加 *交通システムマネジメント

結果

- 東京都内一部配送便の出発時間を早め交通混雑を回避
- 幹線着時間と幹線中継では概ね定時刻に到着を確認
- 交通混雑に伴い影響するエリア・ルートを特定

その他

- G20大阪サミットにて期間中の交通規制に対応し、納期変更等により期間中の出荷量を50%削減（前年比）
- 事前準備により効果的に出荷をコントロールできることを確認

〈社内推進体制〉

- ・人の流れへの対応：働き方改革担当部門
- ・物の流れへの対応：サプライチェーン担当部門
- ・顧客との調整：営業部門

〈運用上の工夫〉

- ・毎月のSmart Work Weekで環境整備促進とテレワークしやすい雰囲気づくり
- ・セミナーを実施し啓発・理解促進
（テレワーク未経験の社員・サプライチェーン関係各社・お客様）

出典：スムーズBiz
ホームページ

京王電鉄株式会社



〈問合せ先〉

京王電鉄株式会社 経営企画部
古賀 睦昌 042-337-3035

取組概要

沿線の方々に向けた取組

鉄道の利用者のオフピーク乗車等の取組

- 夕間時間帯の時差通勤を促進することを目的に、「京王ライナー時差Biz号」を新宿発京王八王子行、橋本行でスムーズBiz期間中に臨時運行
- 期間中、合わせてポイントキャンペーンや、福引ゲームを開催し、得点に応じてトレーディングカードをプレゼント
- 「新線新宿駅新都心口」と「中河原駅臨時口」の改札の営業時間を、それぞれ7時30分から6時45分、7時から6時30分へ早めた

▼京王ライナー時差Biz号



▼トレーディングカード

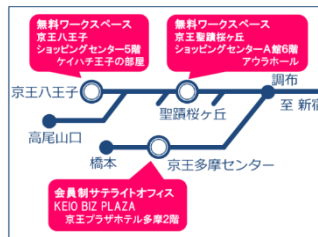


▼告知媒体



サテライトオフィス「KEIO BIZ PLAZA」の取組

- 会員制サテライトオフィス「KEIO BIZ PLAZA」にて会員登録なしで手軽に施設を利用できるキャンペーンを展開
- 京王八王子と聖蹟桜ヶ丘のショッピングセンターに無料のワークスペースを設置



▼告知媒体



本社社員に向けた取組

- スムーズBiz期間中に、本社社員に向けて、これまでも推進している「働き方改革」を強化する方向で施策を実施。また新しいワークスタイルを社内に定着させる契機として、各施策に取り組んだ

● ① 本社入退館時刻の変更

入館時刻を8時→7時、退館時刻を22時→21時に変更（21時以降の残業を原則禁止）し、朝型勤務を推奨

● ② フレックスタイム制度の利用推奨

スムーズBiz期間中のフレックスタイム制度の利用を推奨するとともに、E-ラーニング等を活用してフレックスタイム制度の活用方法を再周知

● ③ サテライトオフィス利用推奨

沿線に3か所（新宿・調布・多摩センター）あるサテライトオフィスの利用および外出先への直行・外出先からの直帰を推

● 実績結果

取組内容	2019年 (対前年)
① 本社入退館時刻の変更	7時～8時の間に始業した延べ人数 950人 (+19人)
② フレックスタイム制度の利用推奨	定時（18時）前に退社した延べ人数 8741人 (+361人)
③ サテライトオフィスの利用推奨	延べ利用人数 471人 (+122人)

● 当社の働き方改革に向けた取組

本社勤務者参加型 働き方改革⑥

- これまでの働き方を見直すことで、誰でも健康で安心して働くことができる環境を整備し、仕事に対するモチベーションや業務効率の向上を図る
- 新しいことにチャレンジする意欲の創出や個人のワーク・ライフ・バランスを充実させ、経営の安定やより良い人材の確保・定着につなげる



出典：スムーズBiz ホームページ

コニカミノルタ ジャパン株式会社



〈問合せ先〉

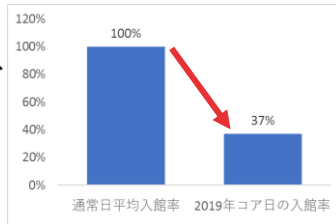
コニカミノルタジャパン株式会社
マーケティング本部 オフィス事業統括部
牧野 陽一 080-9364-2065

取組概要

◆ 人の流れ

① コア日 (7/25、9/5、9/6) の出勤抑制、本社一斉テレワーク

【効果】
浜松町オフィス
通常入館率



② 急なBCP (社配PC非所持時対応) の業務遂行支援
重要なICTコミュニケーション・
コラボレーションシステムに簡単に
アクセス可能な耐水性の名刺
サイズのQRコード票を配布



※本画像では一部を隠しています

◆ 普及活動に関する取組：実績



左には歩道・左に
停止した車向け

後方に停止した
車向けに

社有車にスムーズBizと2020TDMの
推進ステッカーを貼り付けた普及

〈社内推進体制〉

- 経営トップ・人事・総務・情報システム・マーケティング・ソリューション企画・営業・サービス・業務の各部門から参画

〈運用上の工夫〉

- ✓ 出社が必要になる社員数を事前に確認
- ✓ 負荷なく円滑に取り組むために本社一斉テレワーク時の執務室は日毎の入替制で実施

出典：スムーズBiz
ホームページ

TDMテレワーク 実行委員会 (23社連合)



〈問合せ先〉

TDMテレワーク実行委員会 アステリア株式会社
 TEL:03-5718-1297 FAX:03-5718-1261
 E-mail: press@asteria.com

取組概要

「TDMテレワーク」とは

首都圏IT系企業を中心とした23社連合によるテレワーク実施&推進の取組

来年夏の**交通混雑緩和への貢献**に対して、中小規模の企業が集まり**各社のノウハウを共有しながらテレワークに取り組み一定の成果をあげる**ため、アステリア社の呼びかけに応じた23社が連携し「TDMテレワーク」という取組を実施した。



〈参加企業〉株式会社アクティオ、アステリア株式会社、あっと株式会社、株式会社アトラエ、株式会社ヴァル研究所、キョウエアソリューションズ(株)、株式会社クロスコンパス、さくらインターネット株式会社、シックス・アパート株式会社、株式会社ジャパンスコープ (Amel&web ala moda)、ストリートアカデミー株式会社、株式会社ツナグ・ソリューションズ、株式会社TRASTA、株式会社プレシヤスパートナース、ボーダー株式会社、株式会社ホワイトプラス、株式会社mannaka、株式会社ユグレナ、株式会社ラパブルマーケティンググループ、ラムリサーチ株式会社、株式会社リンクバル、株式会社ローカルワークス、株式会社

主な取組とその成果

7/22-9/6のスムーズBiz推進期間中、社内テレワーク推奨並びに、発信

- ◆ 7月前半 賛同23社でリモートチームを結成。オンラインでプロジェクト遂行
- ◆ 7月21日 全賛同企業が集まり記者発表会実施
- ◆ 7月26日 子連れテレワーク実施



〈猛暑・台風テレワーク〉35度以上の猛暑日予報が出た場合はテレワークを推奨し猛暑日は3-5割の社員がテレワークを実施。台風15号が上陸した際には7名のみが出勤し残りの63名はテレワークを実施。
 -アステリア

〈テレワーク利用率向上〉多様な働き方を尊重すべく「さぶりこ」と名付けたテレワークやパラレルキャリアの推進など社員が働きやすい環境、制度の整備に注力。テレワークの利用率が4割から5割超(今夏)にアップした。
 -さくらインターネット

〈個人の裁量でテレワーク実施〉台風15号や猛暑、子育てなどの家庭の事情や前後の業務の都合に応じて50名ほどが自由にテレワークを実施。台風時は自宅勤務に切り替え約3時間の作業時間を確保。
 -アトラエ

〈制度・運用を見直すきっかけに〉テレワークは以前より社内に浸透済み。これを期に制度や運用を見直すきっかけができた。台風時にはテレワークを利用した社員が5割程度。電話対応は午後から悪天候時の留守電に切替えた。
 -ヴァル研究所

〈他業種の取組が参考に〉休暇取得者が半数、時差Biz25名、関東外への出張者が77名など、TDMへの貢献はできた。TDMテレワーク連合では、業種違いの他社での取組が自社での規定の参考に。
 -ラムリサーチ

7/16 テレワーク委員会発足

7/23 子連れテレワーク実証実験

夫婦で自宅勤務とファミリーデー

60代ベテラン社員が介護と両立

MINDS

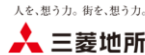
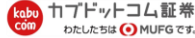


〈問合せ先〉

日本マイクロソフト株式会社
マーケティング&オペレーション本部
山本 築 03-4332-5300

取組概要

異業種連携によるミレニアル世代の働き方改革推進コミュニティ
MINDS (Millennial Innovation for the Next Diverse Society)



Mission

すべての個人が自分らしく
働く社会を実現する

Vision

業界、会社の枠を超えたミレニアル世代から
多様な働き方を日本社会に浸透させる

職場環境

時間・場所に制約されない
柔軟な働き方

和歌山県での
ワーケーションの実証実験

知

わくわく”学び続ける
マインドセット

ミレニアル世代限定の
キャリアセミナー開催

所属

一生一社でない
柔軟な所属の仕方

パラレルキャリアの考察
インタビュー実施

評価軸

一次元でない
多次元的な評価軸

360度評価の実施

満足度

多様な“チョイス”できる
働き方のモチベーション

世代間での
モチベーションの可視化

業界、会社の枠を超えたミレニアル世代が多様な働き方があるコミュニティで創造性を高め
日本社会のイノベーション創出に対してNew Work Style を実行する

コロナ禍における企業への呼び掛け

- ・2020年1月以降、新型コロナウイルス感染症の流行が拡大し、3月には大会の1年延期が決定
- ・テレワークや時差出勤などスムーズビズの取組は感染症対策としても有効、との観点から、大会時の取組準備の前倒しとして、企業等に対応を呼び掛け

企業の皆様へ

東京2020大会時の交通混雑緩和に向けた準備をお願いします。

スムーズビズの取組は、新型コロナウイルス感染症の対策としても有効です。

感染症対策として、テレワーク・時差出勤など大会時の取組の前倒しをお願いします。

大会期間中にご協力いただきたい取組例

- テレワーク
- 時差出勤
- 休暇の計画的な取得
- 配送のリードタイムの緩和
- 大会期間中を避けた配送
- 混雑地域の回避・迂回

東京都の支援メニュー

<アクションプラン作成>

- 企業向けセミナー
- 個別コンサルティング

開催日: 2020TDM 後編
http://2020tdm.tokyo/

<テレワーク導入>

- 企業向け導入相談・セミナー
- 各種助成金

開催日: 東京テレワーク推進 後編
https://tokyo-telework.jp/

住んでいる人も、訪れる人も、より快適な東京へ

スムーズビズ

3つの取組で、新しい働き方の東京モデル

東京都 お問い合わせ先 都市整備局都市基盤部調整課 ☎ 03-5388-3329

スムーズビズ 後編
https://smooth-biz.metro.tokyo.lg.jp/

冬のスムーズビズ実践期間

2020年12/1(火) ~ 2021年2/28(日)

名がたい人とし、誰か一人も、より快適な東京へ

スムーズビズ Smooth Biz

多岐な取組で、新しい働き方の東京モデル

2020TDM 後編

スムーズビズ 後編

テレワーク・オフピーク通勤

混雑時の出勤は避けましょう

ネット注文等の宅配便は、まとめて注文・1度で受け取り

東京2020大会時にもスムーズビズ

交通対策が7月19日から始まります

車も電車も混雑を避けて快適な移動を

スムーズビズ ⇒ 快適な通勤や円滑な物流を実現 | スムーズビズ 検索

2020. 2月中旬 企業へ配布

2020. 12~2021. 2 取組期間設定

2021. 5中旬 動画での周知

大会期間と周知活動

- 東京2020大会時には、交通対策実施期間やオリンピック大会とパラリンピック大会の間も含めて、「特にスムーズBizを推進する期間」と設定
- ポスター・デジタル媒体等による周知やSNS・メールマガジンによる情報発信により、混雑回避を働きかけ

大会日程

日	月	火	水	木	金	土
7/18	19	20	21	22 海の日	23 開会式 スポーツの日	24
25	26	27	28	29	30	31
8/1	2	3	4	5	6	7
8 閉会式 山の日	9 振替休日	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24 開会式	25	26	27	28
29	30	31	9/1	2	3	4
5 閉会式	6	7	8	9	10	11

オリンピック競技大会及びパラリンピック競技大会期間

交通対策実施期間

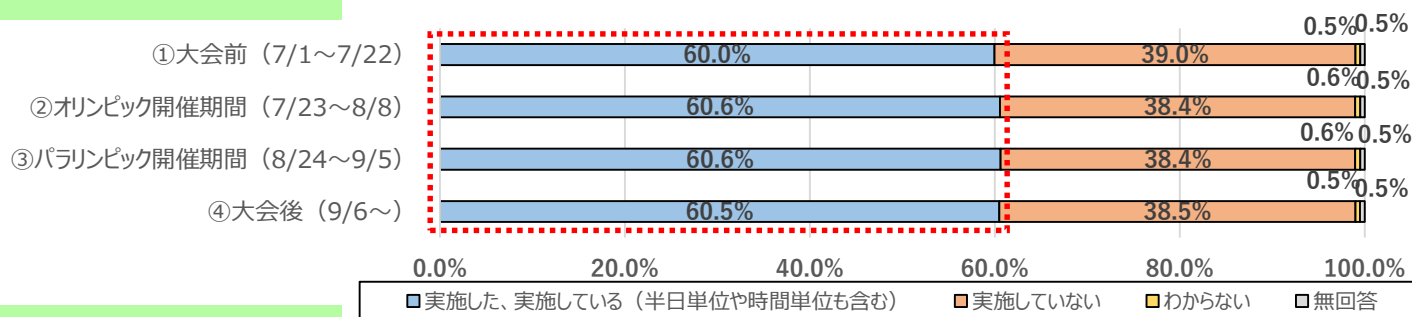
※7月19日（月）～9月5日（日）：特にスムーズBizを推進する期間、テレワーク・ダイヤ2021

大会時の総括

- 多くの企業や個人のご協力により交通量が減少し、選手や大会関係者の円滑な輸送が実現
- 多くの企業がテレワークやオフピーク通勤の取組を実施
 - ・アンケート調査によると、企業の約6割がテレワークやオフピーク通勤の取組を実施

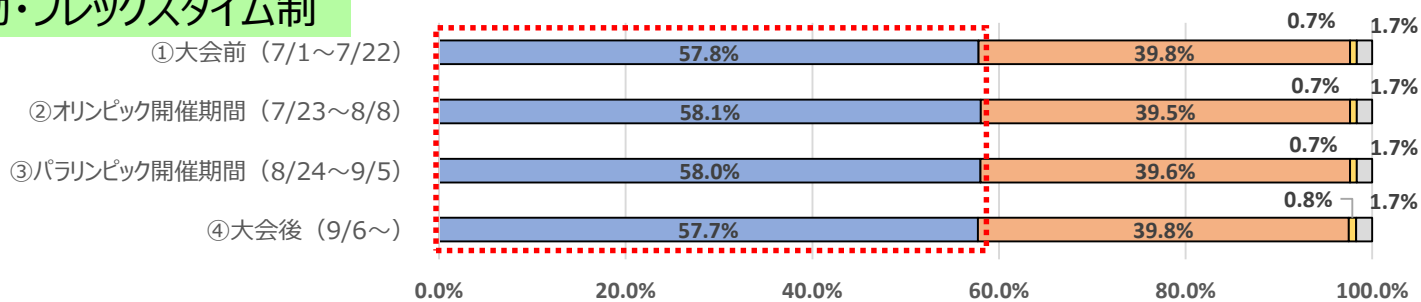
テレワーク

(出典) 東京2020大会時におけるスムーズBiz実施状況調査



n = 2349

時差出勤・フレックスタイム制



n = 2349

■実施した、実施している (半日単位や時間単位も含む) ■実施していない ■わからない □無回答



ARIGATO そして、 これからも。



東京2020大会を契機に取り組んでいただいた、スムーズビズ。
続けることで、もっと暮らしやすい街になっていく。

Since Tokyo 2020

テレワークの活用



オフピーク通勤



物流の効率化



感染症対策

